

船用ケーブルの承認要件

改正対象

鋼船規則 H 編
鋼船規則検査要領 H 編, P 編, PS 編
高速船規則／同検査要領
船用材料・機器等の承認要領
(日本籍船舶用及び外国籍船舶用 (翻訳))
内陸水路航行船規則／同検査要領
(外国籍船舶用 (翻訳))

改正理由

IACS 統一規則 E7 には船舶に用いられるケーブルの型式承認に関する要件, IACS 統一規則 E15 には火災時に動作可能であるべき電気機器及び耐火ケーブルに関する要件がそれぞれ規定されており, 本会は当該規則を既に関連規則に取入れている。

当該統一規則において参照される IEC 規格の多くが近年改廃されている。このため, IACS では, 当該 IEC 規格の改廃に整合させるため, IACS 統一規則 E7(Rev.6)及び E15(Rev.6)を 2025 年 12 月に採択した。

今般, IACS 統一規則 E7(Rev.6)及び E15(Rev.6)に基づき, 関連規定を改める。

改正内容

ケーブルの要件について, 関連する国際規格の参照を改める。
また, 参照規格の追加に伴い, データ通信を行うケーブル (光ファイバーケーブル及びイーサネットケーブル) についても型式承認を要求する旨, 明記する。

施行及び適用

- (1) 鋼船規則 H 編 2.9.11-4.(1)及び 2.9.11-8.並びに同検査要領 H 編 H2.9.11-7. (IACS 統一規則 E15 関連)
2027 年 1 月 1 日以降に建造契約が行われる船舶に適用
- (2) (1)以外の改正 (IACS 統一規則 E7 関連)
2027 年 1 月 1 日以前に製造されたことが表示されているケーブルを除き, 次の
(a)又は(b)に該当するものに適用
 - (a) 2027 年 1 月 1 日以降に承認申し込みのあったケーブル
 - (b) 2027 年 1 月 1 日以降に建造契約が行われる船舶に搭載されるケーブル

規則の節・条タイトルの末尾に付けられたアスタリスク (*) は, その規則に対応する要領があることを示しております。

ID:DD26-01

「船用ケーブルの承認要件」 新旧対照表

新	旧	備考
鋼船規則 H 編 電気設備 2 章 電気設備及びシステム設計 2.9 ケーブル 2.9.1 一般* ケーブルは、次の(1)から(8)に示すいずれかの IEC 規格に適合するもの又はこれと同等以上のものでなければならない。ただし、 <u>同軸ケーブル</u> 、 <u>フレキシブルケーブル</u> 等、特殊な用途に使用されるケーブルにあっては、本会が適当と認める規格に適合するもの又はこれと同等以上のものとして差し支えない。また、ケーブルの敷設等については、本 2.9 の規定に適合しなければならない。 (1) <u>IEC 60092-350:2020</u> (2) <u>IEC 60092-352:2025</u> (3) <u>IEC 60092-353:2024</u> (4) <u>IEC 60092-354:2020</u> (5) <u>IEC 60092-360:2021</u> (削除) (6) <u>IEC 60092-376:2025</u> (7) <u>IEC 60092-378:2024</u> (8) <u>IEC 60092-379:2024</u>	鋼船規則 H 編 電気設備 2 章 電気設備及びシステム設計 2.9 ケーブル 2.9.1 一般* ケーブルは、次の(1)から(7)に示すいずれかの IEC 規格に適合するもの又はこれと同等以上のものでなければならない。ただし、 <u>光ファイバーケーブル</u> 、 <u>フレキシブルケーブル</u> 等、特殊な用途に使用されるケーブルにあっては、本会が適当と認める規格に適合するもの又はこれと同等以上のものとして差し支えない。また、ケーブルの敷設等については、本 2.9 の規定に適合しなければならない。 (1) <u>IEC 60092-350:2020</u> (2) <u>IEC 60092-352:2005</u> (3) <u>IEC 60092-353:2016</u> (4) <u>IEC 60092-354:2020</u> (5) <u>IEC 60092-360:2014</u> (6) <u>IEC 60092-370:2019</u> (7) <u>IEC 60092-376:2017</u> (新規) (新規)	IACS UR E7 Rev.6 の取入れ。
この改正は附則 A による		

「船用ケーブルの承認要件」 新旧対照表

新	旧	備考
2.9.11 火災に対する考慮* -4. 前-3.に規定される装置用のケーブルは, その電源を含めて, 火災の危険性が高い区域での火災が他の区域又は場所での装置の運用に影響を与えないように敷設しなければならない。これは, 以下のいずれかの手段によることができる。 (1) 定格電圧が <u>0.6/1.0 kV 以下のケーブルの場合は IEC 60331-1:2018 及び IEC 60331-2:2018 に, 定格電圧が 0.6/1.0 kV を超え, 18/30 kV 以下のケーブルの場合は IEC 60331-4:2024 に適合した耐火性のものを敷設し, 火災の危険性が高い区域内で火災の整合性を保つように連続的に敷設する。</u> (図 H2.2 参照) ((2)から(4)は省略) -8. <u>光ファイバーケーブル及びイーサネットケーブル (データ通信ケーブル) については, IEC 60092-378:2024 及び IEC 60092-379:2024 の要件を適用することができる, この場合, IEC 60331-1:2018 及び IEC 60331-2:2018 に規定する試験方法を適用するものとする。</u>	2.9.11 火災に対する考慮* -4. 前-3.に規定される装置用のケーブルは, その電源を含めて, 火災の危険性が高い区域での火災が他の区域又は場所での装置の運用に影響を与えないように敷設しなければならない。これは, 以下のいずれかの手段によることができる。 (1) <u>外径が 20 mm を超えるケーブルの場合は IEC 60331-1:2018 に, 外径が 20 mm 以下のケーブルの場合は IEC 60331-2:2018 に適合した耐火性のものを敷設し, 火災の危険性が高い区域内で火災の整合性を保つように連続的に敷設する。</u>(図 H2.2 参照) ((2)から(4)は省略) -8. <u>特殊なケーブルは, 以下の規格の要件によることができる。</u> (1) <u>IEC 60331-23:1999: Procedures and requirements - Electric data cables</u> (2) <u>IEC 60331-25:1999: Procedures and requirements - Optical fibre cables</u>	IACS UR E15 Rev.6 の取入れ。 IACS UR E15 Rev.6 の取入れ。
この改正は附則 B による		

「船用ケーブルの承認要件」 新旧対照表

新	旧	備考
高速船規則 10 編 電気設備 2 章 電気設備及びシステム設計 2.7 ケーブル 2.7.1 一般* ケーブルは、次の(1)から(8)に示すいずれかの国際電気標準会議規格（以下、「IEC」という。）に適合するもの又はこれと同等以上のものでなければならない。ただし、 <u>同軸ケーブル</u> 、 <u>フレキシブルケーブル</u> 等、特殊な用途に使用されるケーブルにあっては、本会が適当と認めた規格に適合するもの又はこれと同等以上のものとして差し支えない。また、ケーブルの敷設等については、本 2.7 の規定に適合しなければならない。 (1) <u>IEC 60092-350:2020</u> (2) <u>IEC 60092-352:2025</u> (3) <u>IEC 60092-353:2024</u> (4) <u>IEC 60092-354:2020</u> (5) <u>IEC 60092-360:2021</u> (削除) (6) <u>IEC 60092-376:2025</u> (7) <u>IEC 60092-378:2024</u> (8) <u>IEC 60092-379:2024</u>	高速船規則 10 編 電気設備 2 章 電気設備及びシステム設計 2.7 ケーブル 2.7.1 一般* ケーブルは、次の(1)から(7)に示すいずれかの国際電気標準会議規格（以下、「IEC」という。）に適合するもの又はこれと同等以上のものでなければならない。ただし、 <u>光ファイバーケーブル</u> 、 <u>フレキシブルケーブル</u> 等、特殊な用途に使用されるケーブルにあっては、本会が適当と認めた規格に適合するもの又はこれと同等以上のものとして差し支えない。また、ケーブルの敷設等については、本 2.7 の規定に適合しなければならない。 (1) <u>IEC 60092-350:2020</u> (2) <u>IEC 60092-352:2005</u> (3) <u>IEC 60092-353:2016</u> (4) <u>IEC 60092-354:2020</u> (5) <u>IEC 60092-360:2014</u> (6) <u>IEC 60092-370:2019</u> (7) <u>IEC 60092-376:2017</u> (新規) (新規)	IACS UR E7 Rev.6 の取入れ。

「船用ケーブルの承認要件」 新旧対照表

新	旧	備考
(外国籍船舶用) 内陸水路航行船規則 8 編 電気設備 2 章 電気設備及びシステム設計 2.9 ケーブル 2.9.1 一般 ケーブルは、次の(1)から(8)に示すいずれかの IEC 規格に適合するもの又はこれと同等以上のものでなければならない。ただし、<u>同軸</u>ケーブル、フレキシブルケーブル等、特殊な用途に使用されるケーブルにあっては、本会が適当と認めた規格に適合するもの又はこれと同等以上のものとして差し支えない。また、ケーブルの敷設等については、本 2.9 の規定に適合しなければならない。 (1) IEC 60092-350:2020 (2) IEC 60092-352:2025 (3) IEC 60092-353:2024 (4) IEC 60092-354:2020 (5) IEC 60092-360:2021 (削除) (6) IEC 60092-376:2025	(外国籍船舶用) 内陸水路航行船規則 8 編 電気設備 2 章 電気設備及びシステム設計 2.9 ケーブル 2.9.1 一般 ケーブルは、次の(1)から(7)に示すいずれかの IEC 規格に適合するもの又はこれと同等以上のものでなければならない。ただし、<u>光ファイバー</u>ケーブル、フレキシブルケーブル等、特殊な用途に使用されるケーブルにあっては、本会が適当と認めた規格に適合するもの又はこれと同等以上のものとして差し支えない。また、ケーブルの敷設等については、本 2.9 の規定に適合しなければならない。 (1) IEC 60092-350:2020 (2) IEC 60092-352:2005 (3) IEC 60092-353:2016 (4) IEC 60092-354:2020 (5) IEC 60092-360:2014 (6) IEC 60092-370:2019 (7) IEC 60092-376:2017	IACS UR E7 Rev.6 の取入れ。

「船用ケーブルの承認要件」 新旧対照表

新	旧	備考
<u>(7) IEC 60092-378:2024</u>	(新規)	
<u>(8) IEC 60092-379:2024</u>	(新規)	

DRAFT

「船用ケーブルの承認要件」 新旧対照表

新	旧	備考
(日本籍船舶用及び外国籍船舶用) 鋼船規則検査要領 H 編 電気設備 H1 通則 H1.2 試験 H1.2.1 製造工場等における試験 -6. <u>型式承認</u>を必要とするケーブルは, 次のとおりとする。 (1) 動力, 照明及び船内通信装置の給電及び配電回路, 制御回路等に使用されるケーブル (2) 動力装置の給電及び配電回路に使用されるキャブタイヤケーブル (3) 150 V 電子機器用多心ビニル絶縁ケーブル (4) <u>推進及び操船等の重要用途に用いられる光ファイバーケーブル及びイーサネットケーブル</u>	(日本籍船舶用及び外国籍船舶用) 鋼船規則検査要領 H 編 電気設備 H1 通則 H1.2 試験 H1.2.1 製造工場等における試験 -6. <u>形式試験</u>を必要とするケーブルは, 次のとおりとする。 (1) 動力, 照明及び船内通信装置の給電及び配電回路, 制御回路等に使用されるケーブル (2) 動力装置の給電及び配電回路に使用されるキャブタイヤケーブル (3) 150 V 電子機器用多心ビニル絶縁ケーブル (新規)	文言修正 (日本籍船舶用) IACS UR E7 Rev.6 との整合。
この改正は附則 A による		

「船用ケーブルの承認要件」 新旧対照表

新	旧	備考
H2 電気設備及びシステム設計 H2.9 ケーブル H2.9.11 火災に対する考慮 -7. 規則 H 編 2.9.11-9.(2)にいう「本会が適当と認める規格」とは、次に示す IEC 規格をいう。 (1) 定格電圧が <u>0.6/1.0 kV</u> 以下のケーブルについては、<u>IEC 60331-1:2018</u> 及び <u>IEC 60331-2:2018</u> (2) 定格電圧が <u>0.6/1.0 kV</u> を超え、<u>18/30 kV</u> 以下のケーブルについては、<u>IEC 60331-4:2024</u>	H2 電気設備及びシステム設計 H2.9 ケーブル H2.9.11 火災に対する考慮 -7. 規則 H 編 2.9.11-9.(2)にいう「本会が適当と認める規格」とは、次に示す IEC 規格をいう。 (1) 外径が <u>20 mm</u> を超えるケーブルについては、<u>IEC 60331-1</u> (2) 外径が <u>20 mm</u> 以下のケーブルについては、<u>IEC 60331-2</u>	IACS UR E15 Rev.6 との整合。
この改正は附則 B による		

「船用ケーブルの承認要件」 新旧対照表

新	旧	備考
鋼船規則検査要領 P 編 海洋構造物等 P12 電気設備 P12.1 一般 P12.1.3 試験 -4. <u>型式承認</u>を必要とするケーブルは、次の(1)から(4)に示すとおりとする。 (1) 動力、照明及び船内通信装置の給電及び配電回路、制御回路等に使用されるケーブル (2) 動力装置の給電及び配電回路に使用されるキャブタイヤケーブル (3) 150V 電子機器用多心ビニル絶縁ケーブル <u>(4) 推進及び操船等の重要用途に用いられる光ファイバーケーブル及びイーサネットケーブル</u>	鋼船規則検査要領 P 編 海洋構造物等 P12 電気設備 P12.1 一般 P12.1.3 試験 -4. <u>形式試験</u>を必要とするケーブルは、次の(1)から(3)に示すとおりとする。 (1) 動力、照明及び船内通信装置の給電及び配電回路、制御回路等に使用されるケーブル (2) 動力装置の給電及び配電回路に使用されるキャブタイヤケーブル (3) 150V 電子機器用多心ビニル絶縁ケーブル (新規)	文言修正（日本籍船舶用） IACS UR E7 Rev.6 との整合。

「船用ケーブルの承認要件」 新旧対照表

新	旧	備考
鋼船規則検査要領 PS 編 浮体式海洋石油・ガス生産、貯蔵、積出し設備 PS8 電気設備 PS8.1 一般 PS8.1.3 試験 -3. <u>型式承認</u>を必要とするケーブルは、次の(1)から(4)に示すとおりとする。 (1) 動力、照明及び船内通信装置の給電及び配電回路、制御回路等に使用されるケーブル (2) 動力装置の給電及び配電回路に使用されるキャブタイヤケーブル (3) 150V 電子機器用多心ビニル絶縁ケーブル <u>(4) 推進及び操船等の重要用途に用いられる光ファイバーケーブル及びイーサネットケーブル</u>	鋼船規則検査要領 PS 編 浮体式海洋石油・ガス生産、貯蔵、積出し設備 PS8 電気設備 PS8.1 一般 PS8.1.3 試験 -3. <u>形式試験</u>を必要とするケーブルは、次の(1)から(3)に示すとおりとする。 (1) 動力、照明及び船内通信装置の給電及び配電回路、制御回路等に使用されるケーブル (2) 動力装置の給電及び配電回路に使用されるキャブタイヤケーブル (3) 150V 電子機器用多心ビニル絶縁ケーブル (新規)	文言修正（日本籍船舶用） IACS UR E7 Rev.6 との整合。

「船用ケーブルの承認要件」 新旧対照表

新	旧	備考
高速船規則検査要領 10 編 電気設備 1 章 通則 1.2 試験 1.2.1 製造工場等における試験 -4. <u>型式承認</u>を必要とするケーブルは次のとおりとする。 (1) 動力，照明及び船内通信装置の給電及び配電回路，制御回路等に使用されるケーブル (2) 動力装置の給電及び配電回路に使用されるキャブタイヤケーブル (3) 150V 電子機器用多心ビニル絶縁ケーブル (4) <u>推進及び操船等の重要用途に用いられる光ファイバーケーブル及びイーサネットケーブル</u>	高速船規則検査要領 10 編 電気設備 1 章 通則 1.2 試験 1.2.1 製造工場等における試験 -4. <u>形式試験</u>を必要とするケーブルは次のとおりとする。 (1) 動力，照明及び船内通信装置の給電及び配電回路，制御回路等に使用されるケーブル (2) 動力装置の給電及び配電回路に使用されるキャブタイヤケーブル (3) 150V 電子機器用多心ビニル絶縁ケーブル（新規）	文言修正 IACS UR E7 Rev.6 との整合。

「船用ケーブルの承認要件」 新旧対照表

新	旧	備考
(外国籍船舶用) 内陸水路航行船規則検査要領 8 編 電気設備 1 章 通則 1.2 試験 1.2.1 製造工場等における試験 -6. <u>型式承認</u>を必要とするケーブルは, 次のとおりとする。 (1) 動力, 照明及び船内通信装置の給電及び配電回路, 制御回路等に使用されるケーブル (2) 動力装置の給電及び配電回路に使用されるキャブタイヤケーブル (3) 150V 電子機器用多心ビニル絶縁ケーブル (4) <u>推進及び操船等の重要用途に用いられる光ファイバーケーブル及びイーサネットケーブル</u>	(外国籍船舶用) 内陸水路航行船規則検査要領 8 編 電気設備 1 章 通則 1.2 試験 1.2.1 製造工場等における試験 -6. <u>形式試験</u>を必要とするケーブルは, 次のとおりとする。 (1) 動力, 照明及び船内通信装置の給電及び配電回路, 制御回路等に使用されるケーブル (2) 動力装置の給電及び配電回路に使用されるキャブタイヤケーブル (3) 150V 電子機器用多心ビニル絶縁ケーブル (新規)	文言修正（日本語訳のみ） IACS UR E7 Rev.6 との整合。

「船用ケーブルの承認要件」 新旧対照表

新	旧	備考
(日本籍船舶用及び外国籍船舶用) 船用材料・機器等の承認要領 第 8 編 電気機器及びケーブルの型式承認 1 章 通則 1.1 一般 1.1.3 対象品目 型式承認取得品として取扱う品目は、原則として次に掲げるものとする。 ((1)から(4)は省略) (5) ケーブル 次の分類に属するケーブル (a) 動力、照明及び船内通信装置の給電及び配電回路、制御回路等を使用されるケーブル (b) 動力装置の給電及び配電回路に使用されるキャブタイヤケーブル (c) 150V 電子機器用多心ビニル絶縁ケーブル <u>(d) 推進及び操船等の重要用途に用いられる光ファイバーケーブル及びイーサネットケーブル</u> (6) 半導体電力変換装置	(日本籍船舶用及び外国籍船舶用) 船用材料・機器等の承認要領 第 8 編 電気機器及びケーブルの型式承認 1 章 通則 1.1 一般 1.1.3 対象品目 型式承認取得品として取扱う品目は、原則として次に掲げるものとする。 ((1)から(4)は省略) (5) ケーブル 次の分類に属するケーブル (a) 動力、照明及び船内通信装置の給電及び配電回路、制御回路等を使用されるケーブル (b) 動力装置の給電及び配電回路に使用されるキャブタイヤケーブル (c) 150V 電子機器用多心ビニル絶縁ケーブル (新規) (6) 半導体電力変換装置	IACS UR E7 Rev.6 との整合。

「船用ケーブルの承認要件」 新旧対照表

新	旧	備考
関連規定により型式承認が要求される半導体電力変換装置 6 章 ケーブル 6.2 承認試験 6.2.1 承認試験 試験の詳細については、次に示す規格等の本会が適当と認める規格による。(必要があれば周囲温度を修正する。) (1) IEC 60092-350:2020 (Electrical installations in ships - Part 350: General construction and test methods of power, control and instrumentation cables for shipboard and offshore applications) (2) IEC 60092-352:2025 (Electrical installations in ships - Part 352: <u>Selection, installation, and operating conditions</u> of cables) (3) IEC 60092-353:2024 (Electrical installations in ships - Part 353: Power cables for rated voltages 1 kV and 3 kV) (4) IEC 60092-354:2020 (Electrical installations in ships - Part 354: Single- and three-core power cables with extruded solid insulation for rated voltages 6 kV ($U_m = 7,2 \text{ kV}$) up to 30 kV ($U_m = 36 \text{ kV}$)) (5) IEC 60092-360:2021 (Electrical installations in ships - Part 360: Insulating and sheathing materials for shipboard and offshore units, power, control,	関連規定により型式承認が要求される半導体電力変換装置 6 章 ケーブル 6.2 承認試験 6.2.1 承認試験 試験の詳細については、次に示す規格等の本会が適当と認める規格による。(必要があれば周囲温度を修正する。) (1) IEC 60092-350:2020 (Electrical installations in ships - Part 350: General construction and test methods of power, control and instrumentation cables for shipboard and offshore applications) (2) IEC 60092-352:2005 (Electrical installations in ships - Part 352: <u>Choice and installation of electrical cables</u>) (3) IEC 60092-353:2016 (Electrical installations in ships - Part 353: Power cables for rated voltages 1 kV and 3 kV) (4) IEC 60092-354:2020 (Electrical installations in ships - Part 354: Single- and three-core power cables with extruded solid insulation for rated voltages 6 kV ($U_m = 7,2 \text{ kV}$) up to 30 kV ($U_m = 36 \text{ kV}$)) (5) IEC 60092-360:2014 (Electrical installations in ships - Part 360: Insulating and sheathing materials for shipboard and offshore units, power, control,	IACS UR E7 Rev.6 の取入れ。

「船用ケーブルの承認要件」 新旧対照表

新	旧	備考
instrumentation and telecommunication cables) (削除) (6) <u>IEC 60092-376:2025</u> (Electrical installations in ships - Part 376: Cables for control and instrumentation circuits 150/250 V (300 V)) (7) <u>IEC 60092-378:2024</u> (Electrical installations in ships - Part 378: Optical fiber cables) (8) <u>IEC 60092-379:2024</u> (Electrical installations in ships - Part 379: Symmetrical category cables with transmission characteristics up to 1000 MHz) (9) <u>JIS C 3410</u> (船用電線)	instrumentation and telecommunication cables) (6) <u>IEC 60092-370:2019</u> (Electrical installations in ships - Part 370: Guidance on the selection of cables for telecommunication and data transfer including radio-frequency cables) (7) <u>IEC 60092-376:2017</u> (Electrical installations in ships - Part 376: Cables for control and instrumentation circuits 150/250 V (300 V)) (新規) (新規) (8) <u>JIS C 3410</u> (船用電線)	
この改正は附則 A による		

「船用ケーブルの承認要件」 新旧対照表

新	旧	備考				
附 則 A						
1. この改正は、2027 年 1 月 1 日（以下、「施行日」という。）から施行する。 2. 施行日以前に承認申込みのあったケーブル、または、施行日以前に建造契約*が行われる船舶に搭載されるケーブルにあっては、この改正による規定にかかわらず、なお従前の例による。 3. 前 2.にかかわらず、製造日が施行日より前であり、ケーブルに製造日が表示される場合にあっては、この改正による規定にかかわらず、なお従前の例による。 * 建造契約とは、最新の IACS Procedural Requirement (PR) No.29 に定義されたものをいう。 IACS PR No.29 (Rev.0, July 2009) <table><tr><td>英文（正）</td><td>仮訳</td></tr><tr><td> 1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding. 2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided: (1) such alterations do not affect matters related to classification, or (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval. The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed. 3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to </td><td> 1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。 2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にある場合は、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。 (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、 (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。 オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから1年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。 3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2.に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。 </td></tr></table>			英文（正）	仮訳	1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding. 2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided: (1) such alterations do not affect matters related to classification, or (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval. The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed. 3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to	1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。 2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にある場合は、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。 (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、 (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。 オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから1年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。 3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2.に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。
英文（正）	仮訳					
1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding. 2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided: (1) such alterations do not affect matters related to classification, or (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval. The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed. 3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to	1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。 2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にある場合は、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。 (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、 (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。 オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから1年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。 3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2.に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。					

「船用ケーブルの承認要件」 新旧対照表

新	旧	備考				
which 1. and 2. above apply. 4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder. Note: This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.	4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。 備考： 1. 本 PR は、2009 年 7 月 1 日から適用する。					
附 則 B 1. この改正は、2027 年 1 月 1 日（以下、「施行日」という。）から施行する。 2. 施行日前に建造契約*が行われた船舶にあっては、この改正による規定にかかわらず、なお従前の例による。 * 建造契約とは、最新の IACS Procedural Requirement (PR) No.29 に定義されたものをいう。 IACS PR No.29 (Rev.0, July 2009) <table><tr><th>英文（正）</th><th>仮訳</th></tr><tr><td> 1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding. 2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided: (1) such alterations do not affect matters related to classification, or (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval. The optional vessels will be considered part of the same series of </td><td> 1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。 2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1 つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあっては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。 (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、 (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。 オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ば </td></tr></table>			英文（正）	仮訳	1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding. 2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided: (1) such alterations do not affect matters related to classification, or (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval. The optional vessels will be considered part of the same series of	1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。 2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1 つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあっては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。 (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、 (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。 オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ば
英文（正）	仮訳					
1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding. 2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided: (1) such alterations do not affect matters related to classification, or (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval. The optional vessels will be considered part of the same series of	1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。 2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1 つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあっては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。 (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、 (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。 オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ば					

「船用ケーブルの承認要件」 新旧対照表

新	旧	備考
vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed. 3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply. 4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder. Note: This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.	れてから1年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。 3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2. に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。 4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。 備考： 1. 本 PR は、2009 年 7 月 1 日から適用する。	